

【事業名】 電動車載蓄電池の診断評価エコシステム構築

事業者名：ゴイク電池株式会社、株式会社日本総合研究所

実施期間：令和4年8月～令和5年2月

1. 事業の背景・目的

低迷する中古電動車市場の拡大、電池の循環価値向上による海外流出抑制などの課題を解決し、市場成長を促す循環エコシステムを構築することを目指す。本事業では、中古電動車の価値を診断評価して電動車の適正な価値を訴求する技術を確立し、サービスに活用可能な診断評価手法の開発を行うことを目的とする。

具体的には、①中古売買の事業者等が利用でき、客観的な評価が可能な安価で短時間計測ができる、使いやすい診断装置の開発。②多数の中古車の診断試験によってデータを取得して保証評価の統計モデルを構築し、大手保険事業者と保証サービス案を策定。③診断技術の信頼性をデータによって証明し、客観評価が可能な検定・認証の方法の基準案を中古流通事業者と策定。

構築された車載電池の循環エコシステムは、情報プラットフォームを共通基盤として、様々な事業者が連携して電池や電動車さらにCO2削減効果、エネルギー利用、循環資源の価値を顕在化して各種サービスとともに市場流通することで、国際競争力のある成長市場を形成することに貢献する。

2. 補助事業の概要

・診断装置開発



図1 小型化・軽量化診断装置
(イメージ)



図2 キャリー型



図3 据え置き型

・車載電池の循環市場形成における本事業の位置づけ

車載電池の循環バリューチェーン

電池・OEM ▶ 電動車ユーザ ▶ 中古事業者 ▶ 整備工場 ▶ 解体事業者 ▶ リユース製造事業者 ▶ リユース利用者 ▶ リサイクル事業者 ▶ 資源化事業者

